

説明のしかたについて考えよう

めあて

写真と文章の関係から工夫を見つけよう

写真と文章を対おうさせてみよう。

対おう

…二つのものが対になっていること

題名（タイトル）をつけてみよう

写真1	写真2	写真3	写真4
1 だん落	2 だん落	4 だん落	5 だん落
試合直前の会場全体の様子をとった ルーズの写真	試合直前、きんちようした選手の顔 をとったアップの写真	ゴールを決め全身で喜び選手の様子 をとったアップの写真	選手と応えんした人たちが一体と なって勝利を喜び合うルーズの写真

【説明の工夫】

写真と文章を対おうさせて書くと、

読み手により伝わりやすい

【5 / 16 時間目 指導略案】 使用するワークシート「説明のしかたについて考えよう」

活動のねらい

教材文を読み、写真と文章とを対応させて書くよさに気付くことができるようにする。

1 写真と文章との関係を考えながら、教材文「アップとルーズで伝える」を読む。

2 写真と文章がどう対応しているか話し合う。

【発問】教材文「アップとルーズで伝える」に出てくる四枚の写真は、それぞれの

段落に対応していますか？「どの言葉」からどのように考えますか？

「対応」という言葉の意味について説明を加え、確認させる。

個人で考えた後、ペアで考えを交流し、さらに全体の場で交流させる。

写真の様子と文章中の言葉を比べさせ、写真と文章が対応していること（わかりやすく場面の様子が説明してあること）をおさえる。

3 それぞれの写真の題名（タイトル）を考える。

個人で考えた題名（タイトル）を紹介し合い、よりよい題名（タイトル）は、ワークシートに書き加えをさせる。

これまでに学習した説明文の見出しを思い出しながら付けさせる。また、「アップ」と「ルーズ」を意識させるために、「〃〃なアップの写真」「ルーズでとった」などといった付け方にチャレンジさせるとよいでしょう。

4 写真と文章を対応させて書く工夫（わざ）をまとめる。

写真と文章を対応させて書くと、読み手はより分かりやすくなります。

評価 写真と文章を対応させて書くよさに気付いている。（ウ）

5 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。

次時は、段落と段落との関係から工夫（わざ）を見付けることを確認する。